



慶應義塾大学ビジネス・スクール

総合電機メーカー 3 社比較 2012年

5

日本の電機業界において、総合電機メーカーと呼ばれる企業は、株式会社日立製作所、株式会社東芝、三菱電機株式会社の3社である。同じ業界に属している同業企業なので、これら3社の財務体質はよく似ている。しかし、各社の戦略、近年の業績などを反映して、各社の財務諸表は、それぞれの企業の特徴を表わしてもいる。

10

次ページ以降に、これら3社の連結財務諸表を掲げる。これらの財務情報はわずか数ページのものにすぎないが、そのほかの定性情報と組み合わせれば、多くのことが読み取れる。今までの経験から得られた情報、新聞・雑誌・書籍などの読書によって得られた情報、経営学の学習によって身に着けた分析フレームワークなどをすべて使って、これらの財務諸表から何が読み取れるのか考えなさい。

15

【設問】

- 2012年3月期において、家電メーカーが苦しんでいるのに比べると、総合電機メーカーの業績は相対的に良好であると考えられる。その理由を推測しなさい。
- 総合電機メーカー3社の売上高原価率、売上高販管費率を計算し、このような順位になっている理由を考えなさい。ただし、三菱電機の販管費が（通常は販管費に含まれる）研究開発費を含んでおり、三菱電機の営業利益が（通常は特別損失に計上される）固定資産減損損失を控除していることに注意せよ。
- 総合メーカー3社の売掛サイト（売掛債権回収期間）と買掛サイト（買掛債務支払期間）を計算しなさい。このような順位になるのはなぜか理由を考えなさい。

20

25

このケースは、クラス討議の資料として、慶應義塾大学ビジネス・スクール教授 太田康広が作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 太田康広 (2012年8月作成)